## 平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 日

					1 770	00   , ,, o
評価対象事業			評価者	文化則	<b>け課担当課長</b>	鈴木 庸一郎
文財-03	重点事業	·史跡環境整備事業	自治事務	主管課	文化財課	
<b>文</b> 州 ⁻03	まち・ひと・しごと	文 即	法定受託事務	関連課		
総合計画上の 位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	史跡の指定、	、保存•管理、整備	<b>責及び活用</b>

1 事業の目的

2 平成29年度に実施した事業の概要

対象	国等指定史跡	<b>中央ショナルの温底数供の中央上版和知りませるとなりなっ</b>
意図	国等指定史跡の整備及び保存・活用を行うため。	・史跡永福寺跡の環境整備や史跡大町釈迦堂口遺跡の崩落対策工事に向けた基本設計等を行った。 ・公有地化した史跡の維持管理を行った。
効果	国等指定史跡の保存・活用を図る。	は 日本日日 3 7 元 7 元 7 元 7 元 8 日本 8 日 7 元 8 日 7

## 3 事業費等基礎データ

一人	データ区分	28年度決算	29年度決算	データ区分	30年度当初予算	備考
デクロ	人口	176,869人	176,466人	人口	176,308人	•各年3月31日
タ等の	世帯数	80,928世帯	81,150世帯	世帯数	81,763世帯	(住民基本台帳)
<u></u>	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	165,687	110,942	当初予算(千円)	57,966	
運	国県支出金	105,046	10,118	国県支出金	19,250	
営資源	地方債	17,100	27,200	地方債		
頂酒	その他	71	114	その他	49	
状	一般財源	43,470	73,510	一般財源	38,667	
況	人員配置数	3.5	3.5	人員配置数	3.5	
	人 件 費(千円)	27,332	27,379	人件費(千円)	27,851	
事	総事業費(千円)	193,019	138,321	総事業費(千円)	85,817	
経業費運	市民1人当りの 経費(円)	1,091	784	市民1人当りの 経費(円)	487	
営	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		_

	表现 /工 4十 田
4	<b>輕価結果</b>

4	評個	<u> Б結果</u>		※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択							
効理	云 性	事業費に削減余地はないか		2. ない							
201 -	- 11	関連・類似事業との統合はできないか		3. 統合できない							
		事業の実施に対する市民ニーズはある	<b>らか</b>	3. 変わらずにある							
妥当	当性	事業の廃止・休止による市民生活への影	響は大きいか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある							
		今後も市が実施すべき事業か		5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある							
有效	<b>油 性</b>	事業の成果は得られているか		2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である							
ΉХ	<i>J</i> IX	事業の上位施策に向けた貢献度は大	きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している							
公马	F性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	入 △-1. 今は受益者負担を求めていないが、今後、負担の導入を検討する必要があ							
				○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している							
協	働	「民等と協働して事業を展開しているか 「おいる」	○.協働実施済	済 協働実施済の場合のパートナー NPO法人 鎌倉みどりのレンジャー							
				加助天地内の一切に「「」   M の位入で 外方と サックレン フィ							
		□ a:事業内容を見直す <b>⇒</b>	見 □ 拡大	<u>元</u>							
事第容0		■ b:事業内容は現状通りとする	<mark>種直</mark> 類し □ 縮小	小 <mark>内直</mark> 容し							
白		□ c:事業を休止又は廃止する	<mark>の</mark> 🗆 その	の他 <mark>の</mark>							
		□ d:他事業と統合し、本事業は廃止	する =	事業へ統合							
予算	5 #月	□ A:予算規模を拡大する	古类山穴 又	史跡の積極的な公開、活用を進める必要があり、本来は拡大が望ましいが、限ら							
模の	力方	■ B:予算規模は現状維持とする	算規模の方向	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
向	性	□ C:予算規模を縮小する	性設定の理由								
価にする	対 考 、根	めの拠点施設として、積極的な公開活 ・史跡大町釈迦堂口遺跡のトンネル部 ・貴重な国民的財産である史跡の公開 ため、日常的な維持管理や暫定的な4	用を進めていく 分の崩落対策 ・活用について 、開活用の手法 。予算を増額す	6工事に向け、基本設計業務を実施して工法案の検討を進めることができた。 ては市民ニーズも高いが、永福寺跡以外の史跡は十分な公開活用ができていない 法などについて、有識者会議で検討し、実施していく。 するとともに、市民協働事業を開始するなど工夫しながら取り組んでいる。しかし、対							

平成29年度事業実施 にあたっての課題 (前年度未解決の事項 を含む)	<ul><li>・都市整備部に委任工事を依頼している文化財課の史跡等の整備については、入札の遅れ等の支障をる。</li><li>・史跡永福寺跡の大規模整備の終了に伴い、適切な管理と積極的な活用を実施していく必要がある。</li><li>・限られた予算の中で、史跡指定地内の樹林や草地の適切な維持管理を行う必要がある。</li></ul>	:改善する必要があ
課題解決のために行っ た平成29年度の取組	<ul> <li>・都市整備部と密に連絡を取ることで、工期の大幅な遅れはなく事業を実施することができた。</li> <li>・史跡永福寺跡の日常的な管理について、公園の管理などを参考にすることで、委託業務により円滑に運営することができた。</li> <li>・史跡の維持管理については、維持管理に伴う予算を増額することで要望等に迅速に対応することができた。また、NPO法人鎌倉みどりのレンジャーと市民協働事業を実施することで、適切な維持に努めた。</li> </ul>	<ul><li>解決</li><li>一部解決</li><li>未解決</li></ul>
未解決の課題、新たな 課題とその理由	・大規模整備が終了した史跡永福寺跡の管理運営について、指定管理者制度の導入も視野に入れた体制を検討し・永福寺跡のトイレの設置に向け、住民等と協議を進めていく必要がある。 ・永福寺跡の大規模整備は終了したが、他の史跡については十分な公開・活用ができていないため、(仮称)鎌倉市り会議を開催し、効果的な手法を検討していく。	-

〇 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	指定史跡名勝	指定史跡名勝天然記念物の件数									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市		
他市実績	77	18	14	1	41	29	16	12	9		
他叩夫棋											

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方

整備や管理、調整等、文化財関係の必要な業務量は文化財数に比例するため、自治体の人口規模や財政規模ではなく、指定文化財の件数を指標として、必要な経費を確保し、事務体制を整備する必要がある。

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容 維持管理を実施し	た史跡数					単位	箇所	指標 傾向		7	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30			H31	市が管理する	
	目標値	17.0	17.0	17.0	17.0	.0 17.0			]	17.0	一 史跡のうち、         _ 定期的な管理         が必要な史跡         数を目標値と	
適正な管理を行うことで、史跡を 保護するため。	実績値	9.0	8.0	10.0	11.0	11.0						
	達成率	52.9%	47.1%	58.8%	64.7%	,					した。	
			•									
指標の内容 一般公開されてい	る史跡数					単位	箇所	指標傾向		$\Rightarrow$	備考	
指標の内容 一般公開されている 当該指標を設定した理由	る史跡数 年次	H26	H27	H28	H29		箇所 H30		ij	→ H31	備考	
当該指標を設定した理由		<b>H26</b> 42.0	<b>H27</b> 42.0	<b>H28</b> 42.0	<b>H29</b> 42.0				1]		備考	
	年次			1			H30		1]	H31	備考	

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方

平成28年度から、日常的な維持管理にかかる予算を増額し、市民協働事業を実施したことにより、史跡の管理状況が改善されつつあるが、すべての指定地の管理が十分にできている状況には至らないため、さらなる工夫が必要である。